

船舶事故等調査報告書

平成23年6月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第78号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成22年11月30日（火） 09時00分ごろ	
発生場所	沖縄県石垣市石垣港港口付近 石垣港沖西防波堤灯台から真方位340° 200m付近 （概位 北緯24° 20.2′ 東経124° 08.2′）	
事故等調査の経過	平成22年12月1日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	旅客船 リゾート・アイランド・カヤマ、12.0トン	
船舶番号、船舶所有者等	296-19410 沖縄、株式会社シー・テクニコ	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	冷却海水ポンプのインペラが欠損、冷却海水管ラバーホースが焼損	
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、石垣港口付近を航行中、平成22年11月30日09時00分ごろ、左舷主機の排気管系統のラバーホースが燃えて煙を排出し、やがて消火したが、左舷主機が運航できなくなった。 本船は、付近にいた僚船にえい航されて石垣港に戻った。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 1、視界 良好	
その他の事項	主機は、過給機の排気出口管付近に設置されたミキシング管で冷却海水を排気管系統内に混入させて排気とともに船外へ排出する方式であり、ミキシング管と排気管とがラバーホースで接続されていた。 主機の冷却海水ポンプは、ゴムインペラが使用されており、本インシデントの発生後に調査した結果、同インペラが折損していた。 船長は、年に2回インペラを取り替えていた。 船長は、救命胴衣を着用していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 あり なし 本船は、石垣港港口付近を航行中、左舷主機の冷却海水ポンプのインペラが折損して冷却海水の供給が途絶え、排気管系統のラバーホースが燃損したことから、左舷主機が運転できなくなったものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が石垣港口付近を航行中、左舷主機の冷却海水ポンプのインペラが折損して冷却海水の供給が途絶え、排気管系統のラバーホースが燃損したため、左舷主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。	